



成果指標				
成果指標	普通財産の売却・貸付増減件数			
指標設定の考え方	市有財産の有効活用を推進し適正な運営管理を行うため、具体的な増減件数を指標とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目 標	1	1	1	0
実 績	0	3	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>普通財産の管理について、今年度は中山町門前地区用地1筆の売却他2件、合計3件の売却、貸付、除却の実績があった。総合計画における保有財産の有効活用は、限られた財源をいかに有効に確保するかにかかっており、そのためにはより積極的に働きかけを行っていく必要がある。現在固定資産台帳が整備されていないため現状把握が難しく対応に苦慮しているが、今年度から2カ年間で整備を行っていくため、完了すればより具体的な活用に向けての計画を立てることが可能となる。その際には不動産関係の業者等への売却委託等も併せて検討を行っていこうと考えている。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>砥部町七折にある市有地の再鑑定評価を行い、長年の問題の解決に向けて再度の取組の途につけた。また、旧唐川小学校の教員用寄宿舎を解体撤去し周囲の環境と安全対策に資することができた。なお、湊町埋立地の市有地は、残る国有地部分との一体整備に向けて、課題である国有地の買い取りの実現に努力する。</p> <p>普通財産の処分は、市税等自主財源が減少する中、財源を確保する有望な手段のひとつである。一方、普通財産が活用されない状態が続くことは維持費の面で財政負担を増す要因となる。</p> <p>そのため、未活用の土地・建物の解消に向けて不動産協会等との協力を模索するなど具体的取組を進展させなければならない。また、今後完成する予定の固定資産台帳を財産管理に有効に活用する方を検討する。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	未利用の普通財産の有効活用、売却は、長年の課題であり、一向に成果が現れて来ない状況である。固定資産台帳の整備に合わせ、これまでの対応策を検証し、新たな取り組みを積極的に展開する必要がある。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	下記の点を見直しの上、継続する。
意見、課題	二次評価の内容を踏まえ見直すこと。